

ぶどう膜炎の治療

– 基礎と臨床 Update –

日時 2010.10.2 (SAT) 12:30-13:30

場所 東京コンファレンスセンター・品川 大ホール(5F)

ぶどう膜炎の原因疾患としては、相変わらずベーチェット病、サルコイドーシス、原田病の三大原因疾患が半数以上を占めています。ただ、最近では原因が多様化し、特に感染症ぶどう膜炎の種類が増えているように思われるが、原因解明にはまだまだである。しかし、実験的自己免疫性ぶどう膜炎の動物モデルに確立によって、ぶどう膜炎発症機序の解明、診断、治療法は著しい進歩を遂げています。今回、お二人のスペシャリストにご講演をお願いしておりますので、明日から診療に役立つお話を聞けることと期待しております。

座長

後藤 浩先生
東京医科大学 眼科学教授

講演1

ぶどう膜炎とサイトカイン

園田 康平先生
九州大学 眼科学准教授

講演2

ぶどう膜炎臨床における最近の進歩

大黒 伸行先生
大阪厚生年金病院 眼科部長